

蛭ヶ岳ー塔ノ岳ーヤビツ峠

山行日：2022.5.22～23

参加者 5 名

天候：晴れ

コース：22日 橋本/6:20ー三ヶ木/7:00ー東野 BS/7:50ー登山口/8:45ー八丁坂ノ頭
/12:00ー姫次/13:07ー蛭ヶ岳/15:40 23日 6:25ー丹沢山/8:45ー塔ノ岳
/10:16ー新大日/11:45ー三ノ塔/13:40ーヤビツ峠 BS/15:16

雨上がりの釜立林道からの登山道は山ヒルの巣窟地帯、入念に予防支度をして歩き出す、尾根に取り付いて間もなく20名ほどのシニア層の団体さんが降りてくる。昨夜の雨の中蛭ヶ岳泊りで早々に下山とは・・・



高度を上げてモノレールが現れると間もなく稜線に



早速お目当てのミツハツツジがお出迎え



さらに姫次から蛭ヶ岳山荘を目指して



丹沢屈指のブナ群落帯に行く



木道階段で高度を上げて行くとシロヤシオが



予定時刻の 15 時半に蛭ヶ岳山荘着

おりしも小屋番の東郷さんが本日限りで山から降りる日だった



宿泊場所を確認、バルコで宮ヶ瀬湖方面を



貸し切り状態の自炊室 滝雲が現れた



日の出は雲海の上から

出発前に



鬼ヶ岩



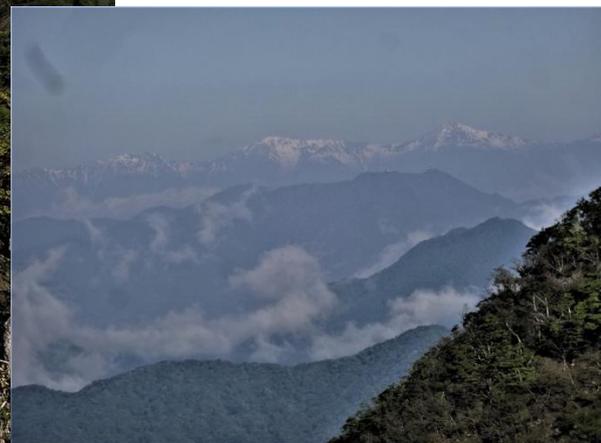
蛭ヶ岳山荘

富士山

檜洞丸

南アルプス一望

今回のベストショット
北岳・間ノ岳・農鳥岳～
塩見、聖、赤石も見える



アップダウンを繰り返しながら稜線に行く



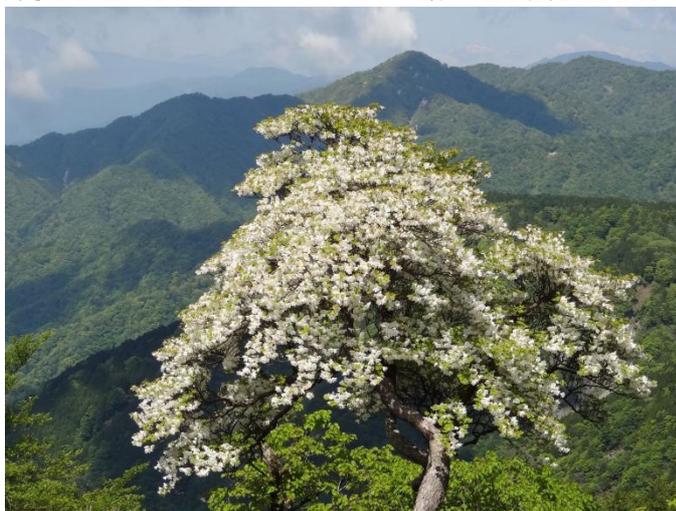
やがて右奥に尊仏山荘が見えてきた



丹沢山に辿り着き、さらに登って降って繰り返す



孤高のシロヤシオ



晴れたり曇ったりと



相談の結果、終着点はヤビツ峠に決定



久しぶりの表尾根縦走、木道の回廊がどこまでも



浸食による崩落が激しい



表尾根唯一の難所、行者ヶ岳鎖場



両側共に崩落が激しい、ここもいつまで耐えられるか



鳥尾山の上に三ノ塔、ゴールも近い



最後の頑張りどころもクリアして



歩いてきた稜線を振り返り見る



三ノ塔、二ノ塔は何故か早々に通過して



ヤビツ峠最終バス便前にレストハウスで生ビールをと、15:46 発の 30 分前に到着、待望のビールです。

